

作成年月日： 2020年 6月 3日 (Ver.1.0)

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を共同研究機関に提供しています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は2020年9月30日までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 乳腺細胞診の新しい報告様式に関する多施設共同研究

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（試料・情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：川崎医科大学 病理学 教授 森谷 卓也

試料・診療情報等の提供先：川崎医科大学 附属病院 病理部

【研究分担施設・研究責任者】

久留米大学医学部附属医療センター 臨床検査室 病理 阿部 英二

他別紙参照

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2010年1月から西暦2015年12月の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院外科および共同研究機関の各診療科
- 3) 対象疾患名：乳腺腫瘍と診断された方

【試料・診療情報等の項目】

試料：乳腺の穿刺吸引細胞診標本、生検および手術時の病理組織標本

診療情報等：年齢、性別、穿刺部位、臨床診断、視触診診断、エコー診断、マンモグラフィ診断、臨床的腫瘍径、細胞診診断、細胞診の推定組織型、病理組織診断（生検または手術）、など。

授受の方法： 郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

乳腺細胞診の国際的な新しい報告様式であるYokohama Systemについて、細胞診報告書を参照し、多施設で後ろ向きの検討を実施する。報告様式の検証と、報告内容により悪性（がん）を推定可能な比率を算出する。その結果を従来の報告様式（乳癌取扱い規約）とも比較する。さらに、報告方法により結果に乖離が生じる症例などは、実際の標本を観察し、その原因を探索する。最終的に新しい報告様式が今後改訂される乳癌取扱い規約に掲載されることを目指す。

【研究（利用）期間】 久留米大学倫理委員会承認後から西暦2022年3月31日まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者：久留米大学医学部附属医療センター 臨床検査室 病理

問い合わせ担当者：阿部 英二

電話：0942-22-6111（PHS 551）

E-mail: abe_eiji@kurume-u.ac.jp

研究番号 20053

【研究分担施設・研究責任者】（続き）

- 北里大学北里研究所病院 病理診断科部長 前田一郎
- 国立病院機構名古屋医療センター 病理診断科医長 西村理恵子
- 博愛会相良病院 副院長・病理診断科部長 大井都恭代
- 三重大学医学部附属病院がんセンター 講師 小塚祐司
- 日本医科大学付属病院 病理診断科 臨床教授 坂谷貴司
- 防衛医科大学校 病態病理学 教授 津田 均
- 日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野 教授 増田しのぶ
- 東海大学医学部附属病院 病理検査技術科長 伊藤仁
- 社会医療法人飯田病院 副院長 土屋眞一
- 医療法人社団こうかん会日本鋼管病院 病理診断科部長 長村義之